



参加者募集

学生選書ツアー開催

学生選書ツアーとは、実際に書店に出かけ、図書館に置く本を学生の視点で選んでみよう！という企画です。みんなにおススメの本や高価で手が届かない本等はありませんか？年に1回の開催なので、この機会にぜひご参加ください。

- 日時
平成 24 年 6 月 13 日(水) 13:00~16:00
- 対象者
島根大学の学生
- 場所
今井書店グループセンター店(田和山町)
(集合・解散は大学正門前)
- 申込締切
平成 24 年 6 月 8 日(金)
17:00 までに、申込書を本館カウンターに提出して下さい。
- 対象者
島根大学の学生

学術情報リテラシー講習会のお知らせ

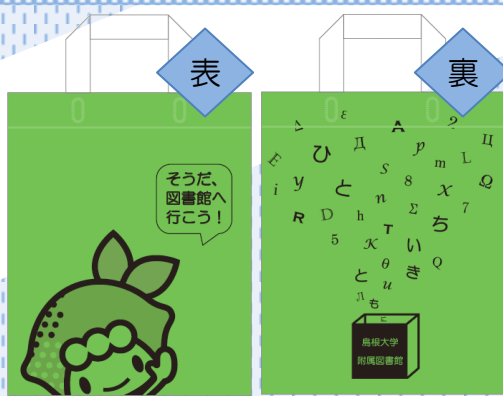
○ 講習会「レポート作成法」

大学生が避けては通れないのがレポート。レポートって何？どういう手順で作成すれば？等の疑問にお答えします。

日時：6/20(水) 14:30 ~ 16:00

雨の日用オリジナルバッグのご紹介

雨天時にカウンター付近で無料配布しています。ビニール素材なので、雨の日もへっちゃらです。



CONTENTS

- 学生選書ツアー参加者募集
- リテラシー講習会のお知らせ
- 雨の日のオリジナルバッグ
- ブック★コンパス「本を読む」
- お薦め図書
OM「アドラー・C.V.ドレーン『本を読む本』」
- つぎやきライム
○第27回/失ってはじめてその価値を実感すること
- ライムのぼんやりトーク

附属図書館本館
改修工事スケジュール

6/1 より新館の工事が始まり、旧館側の1F以外の書庫と、新館は閉鎖されました。詳細は館内掲示やHPの「本館工事関連情報」をチェック！

施設図書館	新館		旧館	
	6月	7月	8月	9月
準備中	閉館(6/1)	閉館	閉館	閉館
開館				

注/工事や作業状況により予定がずれることがあります。



〈ブック★コンパス〉「本を読む」

体験用 iPad 設置中！是非触ってみてください。



■ 読書の意味
■ 読書術
■ 紙の本と電子メディア

皆さんが本を読む目的はなんでしょうか。好みや読み方も十人十色だと思えますが、「本を読む」という行為自体の意味を考えたことのある人は少ないのではないのでしょうか。今回はこの点に注目し、次のような内容の本を展示しています。

テーマに沿って、図書館のおススメ図書を紹介するコーナー「ブック★コンパス」。今回のテーマは「本を読む」です。

工事中は騒音で
ご迷惑をお掛けしますが、
ご了承願います。



★お薦め図書★

このコーナーは毎回様々な人が選んだお薦めの本を紹介するコーナーです。今回は附属図書館本館の職員からの推薦図書です。

只今
ブック★コンパス
にて展示中

本を読む本

M.J.アドラー, C.V.ドローレン著: 外山滋比古, 槇末知子訳

【NDC:081/Ko19-1/1299 本館 1F ブックコンパス】

「良い本を読みながら眠ってしまうような人は、読む努力をしようという気がないのではなく、努力の仕方を知らないのだ。(中略)読者がくたびれてしまうのは、背伸びをしているからではなく、うまく背伸びできないことからくる欲求不満のせいなのだ。」(P.56)

そうさそうさ！ 僕たち私たちは、もっと本が読みたいんだ！ いい本と出会いたいんだ！ だけど読み進められないんだああ……。こんな切実な叫びを胸に秘めている方は少ないのではないのでしょうか。本を読むことと向きあいたいと願っている方へ、『本を読む本』をお薦めします。

本書は、1940年に米国で刊行されて以来、世界各国で翻訳されて読み継がれてきた、知的かつ実践的な読書の技術を学ぶことが出来る手引書です。読書なんてもう出来るから、今さら教えてもらう必要なんてない、と思う方もいらっしゃるでしょう。しかし意外と奥深いもののようなのです。

本書では“読書”を4つのレベルに分けて説明しています。文字が読めるようになる初級読書、短時間で本の大枠を掴む点検読書、時間をかけて読み込んで著者と対話をする分析読書、1つの主題について複数の本を関連付けて読むシントピカル読書の4つです。個人的には点検読書が興味深く、これが不十分だったから分析読書が出来ていなかったのかもしれないと思いました。どのような態度で本と向き合うべきか、どんな質問を本に投げかけるべきか等が、例を交えながら順序だって紹介されています。

その他、教養書と小説との読書の違いや、日本人の読書の特徴、分析読書に値する良書があれば点検読書だけで十分な本も存在すること等、読書に迷う私たちに刺激を与えてくれる内容です。良書へ背伸びする技術を、本書で身につけて実践していけば、いつか少し大きくなった自分に出会えるかもしれません。(kori)

つぶやきライム

～図書館職員のメッセージリレー～

第27回 失ってはじめてその価値を実感すること

唐突ですが、みなさんは「失ってはじめてその価値を実感すること」は最近あったのでしょうか。

例えばこれまで家族と住んでいたのに、新年度から一人暮らしをするようになった方はいらっしゃるのでしょうか。離れてみて初めて、家族のありがたさが身にしみている方もいるのでしょうか。

私はこの4月に松江に引っ越してきたのですが、前の職場は市街地から離れていて、周りにお店もあまりなく不便だったのですが、一つよかったのは敷地を出てから最寄り駅まで歩いて1分、空港まで歩いて15分という近さでした。住むには松江の方が便利なのですが、遠方にてかけるには前のところはとてもよかったなあと、今更ながら実感しています。

もう少し図書館に関係あることだと、先日他の大学の人から、この春に定年退職されて遠方に転居された先生から「電子ジャーナルもデータベースも使えない。何とかしてくれ」といわれて困っている、という話をききました。もちろんご承知の方も多いと思いますが、大学の構成員としてあたりまえのように享受している今の環境は、一歩大学の外にでたら全然あたりまえでなくなってしまうのです。

今年度はご承知のように耐震改修工事の準備がすでに始まっており、皆様にいろいろとご迷惑をおかけしております。ただ実際のところ「図書館が工事で閉館？ 別に関係ないよ」と思っている方もいるかと思いますが(4年生になるまで図書館に来たことがなかった、というツワモノ(?)もいるようですが…)。「図書館がないと困るよね」と思われるようなサービスを日ごろ提供できているかどうか、改めて考える機会にもなっています。そんなわけで、工事期間中もできるかぎりサービスが低下しないように、また改修したあかつきには少しでも皆さんにとって使いやすい図書館になっているように、努力しておりますので、よろしくお祈りします。

(K)

ライムのぼんやりトーク



けんさくくん
新館側が閉鎖されたね。いよいよ改修工事が始まるって感じ。



みいなちゃん
あ！ほんとだ！歴史関係の図書を借りようと思ってたのに、出遅れた…。もう1冊も借りられなくなっちゃったのかな……。



ライム博士
そんなに気を落とさないで、みいなちゃん。新館にあった資料が全部使えなくなったわけじゃないんだよ。



けんさくくん
新館 1F にあった図書の一部は、旧館 2F の北側に移動しているよ。これは9月からの仮設図書館に持っていく予定の図書なんだって。



ライム博士
新館 2F にあった雑誌の一部も、旧館吹き抜け周りに同じく移動しているよ。とはいえ、不便になって申し訳ないけれど、ご了承いただきたい。